

平成 30 年度
地域密着型特別養護老人ホームさがえ

事業報告書

地域密着型特別養護老人ホームさがえ
短期入所サービスさがえ

社会福祉法人 悠々会

1. 地域密着型特別養護老人ホームさがえ (短期入所サービスさがえ)

はじめに

開所から2年を迎え、ようやく「特養さがえ」の運営も軌道にのり、ユニット型の特色を生かしながら入居者の方々が安全に安心して生活が送れるよう、身体的な介護技術はもとより、精神的なケアの資質向上を目指し、日々研鑽に努めてきた。

高齢者の多くは、何かしらの認知症や精神疾患を抱え、その症状は様々であり、柔軟な対応ができるよう専門的な資格取得を目指し、平成30年度は4名が介護福祉士を取得することができた。

また、独居や老夫婦世帯、核家族等により在宅介護が困難となり、長期入所を希望される方が年々増えている現状を踏まえ、入所待機者の状態や家庭環境、経済状況等を事前に把握し、迅速に対応をすることや短期入所サービスにおいても、できる限りご家族の要望に沿った受け入れにより29床のホーム及び21床の短期入所サービス計50床の稼働率は9割以上を維持している。

1. 入所状況の推移

① 入所サービス事業の稼働率

入所定員29名に対し、平成30年4月1日～平成31年3月31日の平均稼働率 98.75%

表 1 入所サービス稼働率の推移 p 7

表 2 性別年齢別・要介護度表 p 8

② 短期入所生活介護事業の利用状況

昨今、短期入所サービス利用者の重度化が進んでおり、指定居宅介護支援事業所及び包括支援センター、医療機関との連携を密にし、病院を退院後、在宅復帰が困難な方も積極的に受け入れた。

一日利用定員21名に対し、平成30年4月1日～平成31年3月31日の平均稼働 84.10%

2. 利用者生活支援の充実強化

集団的生活条件のもとで、利用者をより深く理解し、個別的に快適な生活を支援するとともに継続した研究実践の積み重ねにより、更なる改善を図ることに努めた。

① 生活環境向上ケアの展開

居室担当介護員と入所者及び家族との好ましい人間関係の確立と生活ニーズの把握に努め、そのニーズの即応充足を図る適切な生活支援処遇を実践した。

② 生活支援処遇目標の確立

介護員・看護師・栄養士などあらゆる面からのサポートを行うため介護プランを作成し、個々のニーズに沿った処遇目標の策定、介護の効率化、責任の明確化に努めた。

③ ADLの把握

利用者の生活ニーズと生活支援処遇の原点であるADL能力の調査及び評価を実施し、状況の変化に対応するため、常に個々人の把握に努めた。

④ 週2回の入浴の実施

個別の身体状況にあった入浴の実施及び快適、安全、清潔な入浴に努め、リラックスした入浴への配慮を行った。

⑤ 家族との連携

家族と施設職員との交流会を開催し、意見交換や情報提供を行い、より良いサービス提供に繋がられるよう努めた。また、今年度より家族会の発足が決まり、定期的に家族会を開催し、家族と施設間での連携強化を図ることで、入所者の処遇改善に努めていく。

3. 精神生活の充足活動

入所者の障害の軽減ないし克服を目指し機能回復訓練、行事、レクリエーションなどの実践によって得られる精神的・身体的充足は大きなものである。

① 生活リハビリの実践

生活の全てがリハビリという視点にたち、日常生活の中で自分のできる範囲のことは、極力自立支援の気持で危険の無いよう見守りと一部介助を行なう、生活リハビリを実践した。

② レクリエーションの充実

外に出る機会が少ない入所者を季節に応じ、桜の時期は花見を兼ねドライブや散歩に出かけ気分転換を図った。

表 3 年間行事

p 9

③ 理美容の実施

理美容については、理容業者有志の積極的協力を頂き、定期的を実施した。

身だしなみ・衣替えなどの衣類整理などに努め、入所者の生活の向上に努めた。

4. 健やかな身体維持の確保

入所者の高齢化や介護の重度化により施設において医療は不可欠であり、健康管理が重要である。嘱託医並びに医療機関との円滑な連携を図りながら早期の治療に努めた。

診療体制の確保

① 協力病院との緻密な連携

入院治療を必要とする場合は協力病院との連携を図り、入院治療の体制を確保した。

表 4	入所者入院日数	p 10
-----	---------	------

② 主治医定期検診及び往診診療の確保

内科週二回の定期日以外も必要に応じ、その他の診療科目も含め随時、適時の診療を確保した。

表 5	主治医診察(回数)	p 10
-----	-----------	------

表 6	往診及び受診(外来)ホーム	p 10
-----	---------------	------

表 7	往診及び受診(外来)ショート	p 10
-----	----------------	------

③ 水分補給の徹底

尿路感染症対策及び脱水症状の防止は、高齢者の健康維持に最低限の必要不可欠事項であり、当施設においては、個別的対応にて日中はもちろんのこと夜間においても必要に応じ水分補給に努めた。

④ インフルエンザ等感染症について

昨年度は1月中旬から県内でもインフルエンザ感染警報が出され、職員は手指消毒やうがいの励行を徹底し、家族の面会を制限しながら感染防止に努め、入所者29名中罹患者はいなかった。

表8	週間予定表	p 11
----	-------	------

表9	状況報告	p 11
----	------	------

5. 楽しい食生活を目指して

行事食等を取り入れ、また温かいものは温かく、冷たいものは冷たく適時適温の食事を提供するとともに環境に配慮し、喜ばれる食卓づくりに努めた。

更に、安心して食べていただくために、新鮮な食材を購入し調理作業工程に最善の注意を払いながら食中毒予防に努めた。

① 利用者にあった食事形態

見た目にも食欲が出るような盛り付けを目指し、ミキサー食、軟菜食、常食の3形態での提供を継続的に実施しました。

ある程度形が残り、舌でもつぶせる軟菜食を提供するなど素材の選択と調理に工夫をした。

② 変化に富んだ食事の提供

旬の素材を利用した献立を取り入れると共に、年間行事に合わせた献立を実施。

③ 他職種との連携

介護・看護など他職種職員との密接な連携のもとに、入所者の健康状態の変化など、随時適時に食事の量及び献立内容の変更を行ない対応に努めた。

④ 衛生管理の徹底

調理器具の殺菌、厨房内の清掃を徹底的に行ない、食中毒予防のため細心の注意を払うと共に、献立内容及び食材を吟味し、勉強会を実施するなど安全な食事提供に努めた。

6. 施設強化事業

業務運営方針に基づき、施設利用者の処遇向上及び環境整備のみならず、施設職員による適切な職場環境の保全整備を含め、あらゆる面からの支援に努めた。

(1) 災害時の対応について

地域消防団及び西村山広域行政事務組合消防署の積極的な協力体制のもと計画的に防災訓練を実施することができた。

また、村山地区の高齢者施設間の災害時施設相互応援協定を締結し、災害時における施設間の連携体制を整えた。

(2) 職員研修について

職場にとって、人材育成が最重要項目であり、山形県老人福祉施設協議会の主催する外部研修を中心に職員を派遣し、専門知識の習得に努めた。

また、職場外研修への参加は、処遇に関する情報交換を行う場所としても有効に活用することができた。

表11 研修状況報告書 職場外研修・職場内研修 p 12

(3) 職員の確保について

ハローワーク等へ定期的に訪問し、人材確保に努めた。

(4) リスクマネジメントの実施

事故が発生した場合は、リスクマネジャーを中心に事故の再現や検証を行い、原因究明と予防策について検討し、再発防止に努めた。

平成30年度 入所サービス稼働率の推移

表1

	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム				短 期 入 所			
	利用者数 (a)	利用日数 (b)	稼働可能 日数(c)	利用率 (b/c)	利用者数 (a)	利用日数 (b)	稼働可能 日数(c)	利用率 (b/c)
4月	30	862	870	99.08	46	508	630	80.63
5月	29	890	899	99.00	48	550	651	84.49
6月	29	870	870	100.00	45	527	630	83.65
7月	30	878	899	97.66	44	495	651	76.04
8月	30	879	899	97.78	41	505	651	77.57
9月	29	864	870	99.31	55	565	630	89.68
10月	30	884	899	98.33	62	573	651	88.02
11月	30	860	870	98.85	59	538	630	85.40
12月	29	899	899	100.00	56	546	651	83.87
1月	29	885	899	98.44	55	576	651	88.48
2月	30	783	812	96.43	52	513	588	87.24
3月	29	899	899	100.00	52	550	651	84.49
合計	354	10453	10585	98.75	615	6446	7665	84.10

29年度 93.89

29年度 49.69

平成30年度 性別年齢別・要介護度表

表2

(イ) 年齢別分布表

平成31年3月31日現在

性別 \ 年齢	～64	65～69	70～79	80～89	90～99	100～	合計
男性	0	0	1	4	3	0	8
女性	0	0	0	9	11	1	21
合計	0	0	1	13	14	1	29
比率(%)	0	0	3.4	44.9	48.3	3.4	100
							51.72%

(ロ) 平均年齢

平均年齢	男性	86.95歳
	女性	90.81歳
	合計	89.75歳

(ハ) 要介護度別分布表

要介護度	人数	比率(%)
要介護1	0	0
要介護2	0	0
要介護3	8	27.6
要介護4	10	34.5
要介護5	11	37.9
合計	29	

72.41%

平均介護度 4.1

平成30年度 年間行事

表3

月	行 事	内 容
4月	バスハイク(花見) 家族会発足会 誕生会 犬との触れ合い	チェリーランド河川敷 4月14日(土) 琴操会(7名) 大正琴演奏 各ユニット
5月	100歳賀詞贈呈式(特養しらいわとの合同) 誕生会	寒河江市長より賀詞贈呈 アスポートさがえ(12名) フラダンス
6月	誕生会	つくしんぼコーラス(11名) 合唱
7月	誕生会 七夕 移動アイス屋さん・パフェ作り	アスポートさがえ(15名) 民謡 イスフラダンス・職員による合唱 各ユニット
8月	盆供養(特養しらいわとの合同) 誕生会 かき氷作り	洞興寺・澄江寺(さがえ対象者:7名、ご遺族4名出席) アリオン(3名) クラシックギター 各ユニット
9月	清拭タオル縫いボランティア 誕生会	白岩婦人会(4名) スマイル会(2名) 二胡演奏
10月	敬老会(賀詞贈呈式) 誕生会	米寿賀詞贈呈対象者:5名 琴操会(6名) 大正琴演奏
11月	誕生会	幸生小学校(児童12名) 大黒舞・合唱
12月	誕生会 クリスマスツリー・ケーキ作り	つくしんぼコーラス(11名) 合唱 各ユニット
3月	誕生会	職員によるオカリナ演奏
随時	ちぎり絵や装飾作り、DVD鑑賞会	各ユニット

※1～2月誕生会はインフルエンザ感染予防のため中止

入所者入院日数 表 4

(平成31年3月31日現在)

月	人数	入院日数	月	人数	入院日数
4月			10月	0	0
5月			11月	0	0
6月	0	0	12月	1	11
7月	0	0	1月	1	31
8月	0	0	2月	1	3
9月	0	0	3月	0	0

主治医診察(回数)

表 5

(平成31年3月31日現在)

科		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	診察人数	572	602	609	595	557	518	628	603	551	540	529	580	6,884
	診察回数	20	21	21	21	23	18	22	21	19	19	19	20	244
精神科	診察人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	診察回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	診察人数	572	602	609	595	557	518	628	603	551	540	529	580	6,884
	診察回数	20	21	21	21	23	18	22	21	19	19	19	20	244

往診及び受診(外来)

ホーム

表 6

(平成31年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	1	0	1	0	2	1	1	0	1	0	0	0	7
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形	2	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	3	11
脳外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	4
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	5
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	3	2	0	3	2	2	0	4	4	4	3	30

往診及び受診(外来)

ショート

表 7

(平成31年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	2	3	0	3	8	2	3	3	2	2	2	2	32
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形	4	1	0	0	0	1	3	1	4	4	2	1	21
脳外科	0	0	1	1	0	1	2	1	1	0	0	0	7
泌尿器科	0	0	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3
眼科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
歯科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7	4	3	5	10	6	9	7	8	9	6	4	78

表8 週間予定表

曜日	業 務 内 容
月	血圧測定
	定期処方箋
火	血糖測定
水	1ヶ月に1回 DM、バルプロ酸、ジ ゴキシン、電解質採血
金	処方箋整理
土	回診車整理、材料滅菌
	医務室清掃
日	第一 体重測定。低栄養ハイリス ク者は第三も実施。

表9 状況報告

月	内 容
5月	入居者健康診断
10月	職員健康診断(夜勤者のみ)
	入居者健康診断
11月	職員インフルエンザ予防接種
12月	入所者インフルエンザ予防接種
3月	職員健康診断

平成30年度 研修報告書

表10

職場外研修

	研 修 名	月 日	主 催	参加者数
職 場 外 研 修	平成30年度介護報酬改定「ほのぼの」システム説明会	4月19日	NDソフトウェア	2
	平成30年度介護保険関連事業所説明会	4月27日	寒河江市	1
	平成30年度第1回特養部会栄養士研究会・調理員合同研修会	5月22日	県老施協特養部会	1
	平成30年度生活相談員研究会	5月23日～24日	県老施協特養部会	1
	平成30年度喀痰吸引等研修事業(基本研修 講義・演習)	5月28日～6月22日のうち8日間	県老施協	1
	平成30年度特養部会前期介護職員研修会	6月27日～28日	県老施協特養部会	1
	介護保健施設等集団指導及び制度等説明会	6月27日	県村山総合支庁	1
	社会福祉会計簿記「入門講座」	7月3日	一般財団法人総合福祉研究会	1
	平成30年度介護福祉士実習指導者講習会	7月23日,24日,30日,31日	県介護福祉士会	1
	平成30年度特養部会施設介護支援専門員研修会	9月12日～13日	県老施協	1
	平成30年度特養部会施設長研修会	9月26日～27日	県老施協特養部会	1
	まちかど介護相談事業研修会	10月～12月に5回開催	寒河江市	1
	平成30年度山形県社会福祉振興会事務担当者研修会	10月10日～11日	県社会福祉振興会	1
	平成30年度社会福祉施設防火担当者研修	10月16日～17日	県消防学校	1
	平成30年度特養部会主任介護職員研修会	11月1日	県老施協特養部会	1
	平成30年度生活相談員研究会、多職種合同研究会	11月8日～9日	県老施協特養部会	1
	「働き方改革関連法」説明会	11月16日	県労働局、労働基準監督署	1
	平成30年度西村山管内特養施設長会議	11月28日	特養大寿荘	1
	平成30年度山形県認定調査員現任研修	1月17日	寒河江市	3
	平成30年度特養部会村山地区施設長会議	2月4日	村山地区特養部会	1
平成30年度村山地区特養ホーム等災害時施設相互応援協定防災訓練	3月8日	村山地区特養ホーム等災害時施設相互応援協定	1	

職場内研修

職 場 内 研 修	研 修 名	月 日	場 所	参加者数
	身体拘束適正化委員会	6月27日	特養しらいわデイホール	6
	全体会議	1月31日	多目的ホール	23